

道の駅「南えちぜん山海里」は「ひまわりプロジェクト」を  
応援しています！

『東日本大震災のあと、福島を元気づけようと、全国から  
毎年たくさんの「ひまわりの種」が福島へ送られています』

## 「ひまわりプロジェクト」とは？

～災害を機にスタートした「ひまわりプロジェクト」～

障がいを持つ若者と、農家の方々が協力しながら農作物を栽培する活動が、  
福島県で行われており、その中のひとつに「ひまわりを栽培し、油を製品化する  
という試み」も含まれていました。

しかし、ひまわり栽培がまさに本格的に始まろうとしていた2011年の春、  
原発事故で状況は一変。土壌汚染が明らかな土地で、ひまわり油の生産や販売  
を行うにはあまりにも困難で、やむを得ず断念することになってしまいました。

そんな中、県外の支援者の方々との交流を通じ、「私たちがひまわりを栽培し、  
ひまわり油の原料になる種を送り返しましょう」という温かい提案を受け、  
NPO法人シャロームによって、障がい者支援のための授産事業および福島と  
全国の支援者との絆事業として「ひまわりプロジェクト」がスタートしました。

### ひまわりオイル「みんなの手」

全国の支援者がヒマワリを育て、実った種をプロジェクト実行委員会に送付。  
集まった種から、薬品を使わない伝統的な圧搾絞りの技法で油を搾り、福祉施  
設の授産製品として、ひまわり油「みんなの手」が製造・販売されています。

また、その収益金は障がい者の支援や、福島の子どもたちの社会活動の資金  
などに活用されています。